

わたしの 妊娠報告書

記載日 H25 年 12 月 22 日

おめでた宣言日	H25 年 9 月
年齢 (36) 歳	平成 (H18) 年 (11) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	() 年 (11) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (自然排卵 + タイミング 排卵誘発 + タイミング)
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	(1) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	(1) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	() 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	(1) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	(1) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

- とにかく冷やさず暖かいようにしました。真夏でも腹巻を2枚とくつ下は欠かせませんでした。卵を産してからの時は、レギンス + レッグウォーマー + 腹巻を2枚とくつ下を2枚と履きました。
- 質の良い卵が出来る様に、ウォーキングを毎日、食生活に気を付けました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

1回目の体外受精では、採卵1個・次の日に精子が2個入って馬目になりました。

質の良い卵を作るために努力した上に、先生や看護師さんに助けられ2回目の顕微鏡授精では良い成績で、始めて産んだ卵で妊娠することができました。

その他 (通院・治療費・家族など)

毎日の注射は、おとりの看護師さんにしていたので、本当に助かりました。

治療費は、遠方に住む両親が援助してくれて、有り難いことでした。周りの方に助けていたのに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今の私がいます。

治療中の方へのアドバイス

20歳後半は、卵巣出血、子宮内膜症、卵巣腫瘍で手術2回、入院をくり返す日々でした。結婚7年で子供が出来なかったため、病院に通い、両側の卵管閉塞が判明し、すぐ体外受精にステップアップしました。色々な辛いこともありますが、とにかく先生や看護師さんを信じて、あとは自分のごまきことを前向きに笑って取り組みました。

スタッフへのご意見など

長期間病院に通うことを覚悟していましたが、婦人科系の病気を下へさん持っていたので、まさかこんなに早く子供を授かることができるなんて夢のようで、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。妊娠判定の日、診察室に入ると先生がOKサインをしてくれた姿を見て、感動と感謝でいっぱいになりました。看護師さん本当に優しく接して下さって、受け持ちさんはお会いする度に声をかけて下さって不安なく、安心に通うことができました。一卵性双生児を授かり、正直不安もありましたが、絶対健康で元気な子を産めます!!

.....
 可 不可

本当に本当に、ありがとうでした。

12/21で妊娠5ヶ月になりました。すっぴんお腹も下さくぱんぱんです!!